



社団法人 広島市医師会 第339号 平成17年 5月発行

臨床検査センターだより

〒730-8611 広島市中区千田町三丁目 8番 6号
TEL (082) 247-7191 / FAX (082) 244-0403
フリーダイヤル 0120-14-7191
<http://www.city.hiroshima.med.or.jp/>

目次	◇検査室紹介シリーズ(細菌部門)	1	◇今月の笑顔	7
	◇生体検査のご案内	3	◇D.I.質問箱	8
	◇アレルギー情報	4	◇編集後記	8
	◇感染症情報	6		

検査室紹介シリーズ

細菌部門

主任 松田 富枝



日和見感染の増加に伴い、抗菌薬耐性菌も増加しており、院内感染予防対策が社会的に要求されてきている今日です。

当細菌検査室では、「**一般細菌**」、「**嫌気性菌**」、「**真菌**」、「**結核菌**」を主として検査しており、各種材料の塗抹、起因菌の同定、薬剤の感受性を行なっています。

特 色

1. 他の検査センターよりも1日から2日早く検査結果を届けています。
2. 検査機器はもとより、経験豊富な検査技師の肉眼的検査を基に、自家製培地によるきめ細かな検査で精度を高めています。
3. 薬剤感受性検査では、検査センター基準セットを設けており、希釈法によるMIC値(定量)とSIR(定性)の両方で報告しています。検査センター基準セットは、各疾患別に適応した診療科別セット4種類と菌種別セット3種類を用意しています。また、任意の薬剤の組合せや各病医院ごとの感受性セット(定性)も受託しています。

薬剤感受性検査



感受性基準セット(ルーチンA～E)は、MIC(最小発育阻止濃度 単位 $\mu\text{g/ml}$)とSIR判定(S:感受性 I:中間 R:耐性)で結果をご報告します。

感受性病医院セット、任意の薬剤組合せは、SIR判定でご報告します。

診療支援

1. 至急検査ご依頼の場合、電話またはFAXにて検査結果をご報告します。
2. 次の場合、電話にて検査結果をご報告します。
 - 血液から菌が検出された場合
 - 便から病原菌が検出された場合
 - 抗酸菌塗抹検査で抗酸菌が検出された場合
 - 抗酸菌培養で抗酸菌コロニーが発育した場合
 - 休前日に便培養でキャンピロバクター検出の疑いがある場合
3. 耐性菌(ESBLs、メタロー β ラクタマーゼ産生株)が検出された場合、その旨のコメントをつけてご報告させていただきます。
4. ご要望により院内感染資料を作成します。
5. 感染症情報を定期的に発行します。



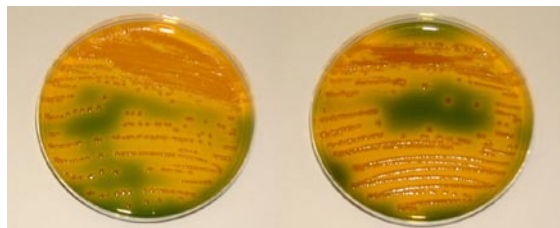
▲真菌検査



▲便の接種

行政との連携

広島県環境保健センター、広島市衛生研究所、各区保健センターと密接な連携を図り、届出感染症、食中毒、その他病原菌の速やかな確認体制をとっています。



▲2005/7/6に分離したコレラ菌 (*V. cholerae* O1) で、タイプは稲葉型です。 TCBS寒天上の黄色いコロニー
※ホームページにはカラーで掲載しています。

精度管理

1. 検査室の精度管理として *Staphylococcus aureus*、*Pseudomonas aeruginosa*、*Escherichia coli* の標準菌株を用い培地と感受性ディスクの管理を毎日行なっています。
2. 外部精度管理として、日本臨床検査技師会、広島県医師会のコントロールサーベイに参加し、高い評価を得ています。

当検査室スタッフは、常に新しい知識を吸収して日常業務に生かし、臨床に有用な情報を提供できる体制を整えていきます。また、迅速な結果報告により、感染症診断および治療に貢献できる細菌検査室を目指しています。



▲菌の釣菌

生体検査のご案内

▼CT検査

ご予約先：(082) 247-7191 (代表) / フリーダイヤル 0120-14-7191

月曜日～土曜日 8:30-19:00 受付予約

▼乳房X線検査(マンモグラフィー)

実施日：毎週 火曜日 および 木曜日 午後1時～3時

※X線検査依頼状を持って検査センターまでお越しください

※予約不要

アレルギー情報

春のアレルギー出検報告

学術データインフォメーション課

今春は全国的にスギ花粉が大量に飛散し、広島市におきましても、昨年の10倍以上の飛散量を記録しました。厚生労働省からは、「花粉症に対する緊急対策」が発令され、花粉症の相談体制の整備として花粉症に関する相談マニュアル(Q&A)の提供、花粉症に関する正しい情報の提供、花粉症に関する適切な医療の確保がなされ、花粉症に対する関心が高まっていました。

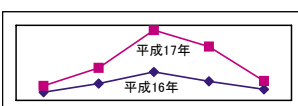
花粉症は国民の5人に1人が罹患すると言われるほど、患者数が多い疾患であり、今春のように大量飛散となりますと、既往の患者様に加え、新規で発症される患者様も多く来院されたと思われます。

特異的IgE抗体検査により、アレルギーか否かの鑑別と、検査で陽性となったアレルゲンから発症しやすい時期(治療のタイミング)を推測できますので、患者様のQOLの向上に有意義な情報をご提供できます。

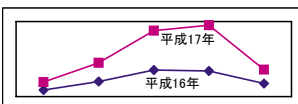
花粉症の初診時と感作アレルゲンの経過観察に、特異的IgE抗体検査をご活用ください。

■吸入性アレルゲン

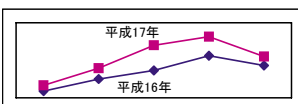
スギ	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	164	334	569	381	219
平成17年	291	651	1401	1076	389



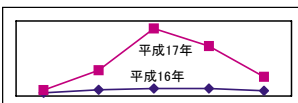
ヒノキ	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	70	162	283	272	139
平成17年	154	360	701	760	288



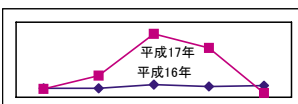
カモガヤ	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	18	50	73	112	86
平成17年	33	79	140	163	110



イネ科【マルチ】	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	6	12	14	14	10
平成17年	11	48	126	93	36

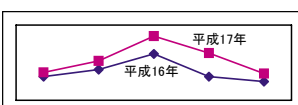


雑草【マルチ】	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	19	19	27	23	25
平成17年	18	46	135	105	9



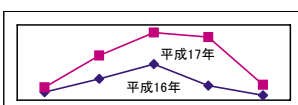
■MAST26

MAST26	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	94	123	185	94	74
平成17年	111	157	256	188	106

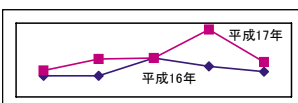


■C-PAC

鼻炎	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	37	99	168	68	22
平成17年	59	208	315	294	72



喘息	1月	2月	3月	4月	5月
平成16年	20	20	37	29	24
平成17年	25	36	37	64	33



※広島市医師会臨床検査センター受託分より

※『広島市医師会臨床検査センターだより』でご紹介させていただいた項目から抜粋しています。

アレルギー情報

アレルギー・マーチを防ぐために

アレルギーになりやすい体質(アトピー素因)を持った子供は、赤ちゃんのときには、胃腸症状や湿疹(アトピー性皮膚炎)が現れ、小児になってぜんそくや鼻炎症状が発現します。このように年をとるにつれて、異なったアレルギー症状が次つぎと現れることを、『アレルギー・マーチ』と呼んでいます。

特に乳幼児の食物アレルギーは、アトピー素因を刺激し、ダニなどの吸入性アレルゲンによる症状も起こりやすくします。これがアレルギー・マーチ進展のきっかけになることもありますので、十分な注意が必要です。

アレルギー症状は、年齢とともに推移します。

アレルギーの症状とその原因物質は年齢とともに変化していきます。特に乳幼児期においては胃腸の発達が不十分であるため、食物アレルギーが原因となるアレルギーが多くみられます。

年齢の推移と症状、その原因となる主な食物アレルゲンを下記にあげてみました。検査ご依頼の際にご参照ください。

症状	主なアレルゲン			
	0～1 歳 	1～3 歳 	3～7 歳 	7 歳～成人 
胃腸アレルギー (下痢、嘔吐、 吐き気、腹痛等)	ミルク	ミルク 卵 大豆	卵 大豆 小麦	卵 大豆 小麦 ソバ カニ エビ
湿疹 アトピー性皮膚炎 じんましん	ミルク 卵 ダニ	ミルク 卵 小麦 大豆 米 ダニ	卵 小麦 大豆 米 ダニ	卵 小麦 大豆 米 ダニ カビ(常在菌)
喘息	ミルク 卵 ダニ ネコ イヌ	カビ ダニ ネコ イヌ	カビ 花粉 ダニ ネコ イヌ	カビ 花粉 昆虫 ダニ ネコ イヌ

資料提供：スウェーデン・ダイアグノスティクス株式会社

新規実施項目のお知らせ

「ヤマイモ」「クルミ」「スイカ」実施日：平成17年7月1日～

(検査センターインフォメーションHMA05070115)

Information

検査センターインフォメーション

■感染症情報（平成17年）

	流行耳下腺炎		風疹		麻疹		百日咳抗体		
	(ムンプスIgM)		(風疹IgM)		(麻疹IgM)			山口株(流行株)	東浜株(ワクチン株)
期間	依頼数	陽性数	依頼数	陽性数	依頼数	陽性数	依頼数	陽性数 (40倍以上)	陽性数 (40倍以上)
4月	77	41	17	2	6	0	46	17	18
	陽性率53.2%		陽性率11.8%		陽性率0%			陽性率37%	陽性率39.1%
5月	102	54	10	0	3	1	78	44	32
	陽性率52.9%		陽性率0%		陽性率33.3%			陽性率56.4%	陽性率41%
6月	139	69	13	0	7	1	82	52	37
	陽性率49.6%		陽性率0%		陽性率20%			陽性率63.4%	陽性率45.1%
7月	132	77	12	0	3	0	83	46	42
	陽性率58.3%		陽性率0%		陽性率0%			陽性率55.4%	陽性率50.6%

※疑陽性は陽性率に含まれていません。

※基準値は10倍未満ですが、診断価値が高いとされている40倍以上を集計いたしました。

■感染性胃腸炎（腸管病原菌）検出状況

平成17年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
キャンピロ(ノカンピロ)バクター	108	85	64	121	133	220	247
病原大腸菌	95	90	97	43	90	91	63
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	2	1	0
サルモネラ	3	0	2	8	7	9	14
MSSA	20	28	14	6	13	5	15
MRSA	35	36	37	11	15	7	14
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	1	7
その他	2	0	0	0	0	1	※5
ロタウイルス *迅速抗原検査	4	9	54	38	8	0	1
アデノウイルス *迅速抗原検査	2	1	1	3	1	0	0
合 計	269	249	269	230	269	335	366
陽性率	22.7%	25.9%	27.5%	25.5%	26.8%	28.9%	32.2%

※コレラ菌1株(ビブリオ コレラ O1 稲葉型)とプレジオモナス2株、アエロモナス1株、NAGビブリオ1株の計5株を検出しました。

【お問合せ先】

学術データインフォメーション

フリーダイヤル：0120－14－8734 / ダイヤルイン：082－247－4325

 今月の笑顔

検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見ご感想をぜひお聞かせ下さい。



やまだ さえこ
山田 朗子
検査二科血清所属
勤続 12 年

継続は力なり???

入所した年に始め、現在も継続中の事が一つだけあります。それは週に一度の“書道教室”です。

友人からの年賀状に衝撃と感動を覚え、「私もこんな字が書きたい!」と、次の週には入会していました。最初の一生懸命さと新鮮な気持ちはどこへ行ってしまったのか? 今では先生が最後に出してくださるお茶とお菓子を楽しみに通っている私です。筆を持ち半紙に向かっている時間は、とても静かで、落ち着いた空間を私に与えてくれます。

1 年間の成果を表すべく、また、日頃の感謝の気持ちを伝えたく、年賀状だけは1枚ずつ心をこめて書いています。しかし、肝心の腕前はというと、寄り道ばかりでなかなか進歩がないのが現実です。それでも続けているうちにいつかは……、と自分を甘やかしています。

習い事というよりは気の合う仲間や先生とゆっくりした時間を過ごしている、という感じのこの教室が私はとても気に入っています。



しのはら ともみ
篠原 智美
検査一科生化学所所属
勤続 12 年

リゾート地で充電

私が楽しみにしていること、それは気がおけない仲間との海外旅行です。これまでに訪れた国はタイを皮切りに、グアム、マレーシア、韓国、オーストラリア、ハワイなどで、“海のきれいなリゾート地”が大半を占めています。

私たちの間ではハンディービデオが旅の必須アイテムになっていて、毎回おもしろいビデオを撮影するのが恒例で、それが目玉でもあります。

ホテルのフロントで一生懸命話しかけているのに、全く言葉が通じず完全無視されたこと、海で何かがぶつかり謝ったらヤシの実だったこと等々、旅のエピソードはたくさんあります。良いことも悪いこともすべてが楽しい思い出となっていて、それが仕事への活力にもなっています。



オアフ島：ダイヤモンドヘッド



D.I. 質問箱

※ D.I. … データインフォメーションの略

Q15

結核菌群PCR※を依頼したら、検査不能になる場合があると連絡がありました。なぜでしょうか。

※PCR：Polymerase Chain Reaction

A15

結核菌群検査(PCRおよび核酸増幅同定)、アビウム・イントラセルラー(PCR)は、血液・便以外の検体で検査可能です。

血液が混入した検体では、ヘモグロビンがPCR反応を阻害するため、偽陰性になる恐れがあります。

検体をシードスワブで採取したり、綿棒や綿球で拭き取ったものは検査できません。

また、検体をティッシュペーパーで包むと、コンタミネーションのため検査ができなくなる場合があります。

血液が混入していない検体を1cc以上、滅菌喀痰容器等に直接採取してご依頼ください。

編集後記

1ヶ月前の休日、小学1年生の娘にせがまれ昔のアルバムを開いてみました。そこに朝霧に包まれるモニュメントバレーの写真がありました。

何万年もの間、自然の風化作用により出来たこの大地の芸術に比べると、一生懸命働いても50年の人生で何が出来るのでしょうか…。私自身、後世に残せるものといったら二人の娘くらいなものです。一気に虚無の気持ちになってしまいました。



そういえば、映画「フォレスト・ガンプ」でガンプがアメリカ大陸を何度も横断し、3年2ヶ月14日16時間走り続けるシーンがありましたが、走るのを止めたのがこのモニュメントバレーでした。彼も何かを感じたのでしょうか…。

でも習性はなかなか変えられません。娘たちが成人になるまでは、私のモットーも変わりそうにありません。“Keep on running, keep on going. Where there is a will, there is a way.”

(前田 亮)

広報委員

松本 道雄／藤本 誠／伊丸 直樹／中村 賢作／奥村 真紀子／初岡 博